

かごしま学力向上Webシステムの活用

→ まずはシステムにアクセスを!!

「かごしま学力向上支援Webシステム」は、鹿児島県の児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するため、教員の授業改善を支援することを目的として構築しており、各学校において積極的に活用を図れるように平成27年1月に本格稼働しました。各学校に配布されたIDとパスワードを入力すると右上のようなトップ画面に入ります。トップ画面から、必要な情報やデータにアクセスできるようになっています。



<Webシステムトップ画面>

単元別評価問題等のダウンロードや様々な教育情報のほか指導法改善に役立つ多くの資料がアップされています。ぜひ、アクセスしてみてください。

→ 単元別評価問題の活用を!!

重点課題問題をはじめとする様々な単元別評価問題がシステムにはアップされています。「パスワードを入れて、ダウンロードする時間が・・・」という意見を基に、Webシステム上にアップしてある単元別評価問題を収めたCD【右図】が11月に全小・中・義務教育学校へ配布されました。CDを作動させ、問題を選び印刷をかけるだけです。ぜひ、授業や行間等の個別指導課題や家庭学習課題、長期休業における復習課題など様々な場面で活用していただけたらと思います。



<評価問題CD>

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日（木）～7日（水）の期間を中心に地区内の小・中・義務教育学校で学校の特色を生かした様々な取組が行われました。県教育委員が訪問されて、県民週間ポスター原画・標語の表彰式が実施されました。

南九州市立大丸小学校【ポスター原画：学校賞】

南九州市立大丸小学校

【ポスター原画：最優秀賞 6年 東園 琉生さん】



指宿市立利永小学校【ポスター原画：学校賞】



南さつま市立川畑小学校【標語：学校賞】



最優秀賞作品
「ねったば」の作り方
教えてもらったよ

受賞おめでとうございます。

事故防止の徹底

1 交通安全

○「平成30年度の交通事故による負傷者数」
(県警察本部統計から9月末現在)

| | | |
|-----|-----|------|
| 小学生 | H30 | 59人 |
| | 前年比 | -9人 |
| 中学生 | H30 | 34人 |
| | 前年比 | -17人 |

○「児童生徒の自転車による違反行為」
(自転車指導警告票・安全カードが発出された内容:多いほうから)

| | |
|---------|---------|
| 1 一時不停止 | 2 並進 |
| 3 無灯火 | 4 2人乗り |
| 5 携帯電話 | 6 イヤホン |
| 7 通行区分 | 8 踏切不停止 |

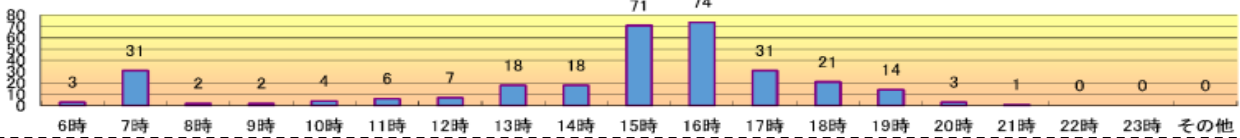
2 不審者への対応

○「中学生以下への声掛け・つきまとい事案件数」(県警察本部調べ)

平成30年9月末 306件発生
(前年同期比 +23件)

単位 (件)

時間帯別発生状況



前年度の同時期と比較して、件数は増加しています。子供たちが声掛けの事案に遭わないよう以下の点について、繰り返し指導をお願いします。

- 外出時は、家の人の「いつ頃まで、どこで、誰と、何をするのか」等を知らせる。
- できる限り二人以上で行動し、暗くならないうちに、早めに帰宅する。
- 不審者に遭遇したら、『いかのおすし』を励行する。

※ 「い」か、「お」のらない、「お」おごえをだす、「す」ぐにげる、「し」らせる

第69回県図画作品展特別賞・特選

<最優秀学校賞>

南九州市立宮脇小学校

<県議会議長賞>

南さつま市立笠沙小学校

5年 大迫 颯

指宿市立南指宿中学校

1年 安藤 遥菜

<県美育協会賞>

南九州市立大丸小学校

3年 桐木平維叶

<市長会会長賞>

指宿市立大成小学校

3年 外菌 直人

南九州市立宮脇小学校

5年 祝迫 美優

<特選>

指宿市立池田小学校

2年 富山 琥白

南九州市立宮脇小学校

2年 鶴留 泰清

南九州市立宮脇小学校

2年 勝田 凌平

指宿市立大成小学校

3年 福崎 頼武

指宿市立利永小学校

3年 久保 一粹

南九州市立宮脇小学校

3年 大村 遼真

南九州市立宮脇小学校

5年 福留 亜美

枕崎市立枕崎中学校

1年 小路くるみ

南さつま市立万世中学校

2年 篠原かなみ

南さつま市立万世中学校

3年 寺園 未衣

南さつま市立万世中学校

3年 鮫島 琉那

第61県児童生徒作文コンクール 特選

南さつま市立加世田小学校

6年 重信 杏依

南さつま市立加世田中学校

2年 南 羽音

南さつま市立大笠中学校

3年 前野 花乃

飲酒・酒気帯び運転の根絶

年末年始を控え、忘年会・新年会等飲酒の機会が増えてきます。**飲酒・酒気帯び運転は決して許されない行為**であることを、一人一人が強く認識しましょう。

- 飲酒の予定がある場所へは、自動車等では出かけない。量の多少に関わらず、飲酒した場合はいかなる理由があっても自動車等は運転しない。
- 飲酒の翌日においても、アルコールが体内に残存している危険性がある場合は、通勤も含めて自動車等の運転はしない。
- 自転車も車両であることを踏まえ飲酒後は自転車の運転もしない。

- アルコールは“少量”でも脳の機能を麻痺させます。
「注意力・判断力の低下」→「運転操作ミス」→「事故発生」
- 個人差はありますが、体重50kgの人がビール大瓶1本飲んだ場合、体内からアルコールが抜けるまで6~7時間かかるといわれています。

飲酒運転をした教職員は、懲戒免職等の重い処分となります。その時あなたはどうしますか、学校の子供たち、御自身の家族はどうなりますか・・・